

「ハイエフヒーポン」が省エネ大賞を受賞

当社エネルギー応用研究所が、(株)神戸製鋼所殿、東京電力(株)殿、関西電力(株)殿と共同開発した超高効率空冷スクリュヒートポンプチラー「ハイエフヒーポン」(型番:HEP150AW、HEP150CW)が経済産業省の主催する平成18年度第17回省エネ大賞(省エネルギー機器・システム表彰)の省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。

空冷スクリュヒートポンプチラーは、ビルや工場など様々な用途に用いる冷暖房用の熱源機で、スクリュ圧縮機を用いて冷水や温水を作る機械です。

受賞した「ハイエフヒーポン」は、最新鋭の効率化技術により、業界最高のエネルギー消費効率を達成した点が評価されました。

なお、「ハイエフヒーポン」は(株)神戸製鋼所から発売しています。



開発を担当した三摩主任、櫻場チームリーダー、林担当(左より)

電力技術研究会シリーズ

系統運用専門部会は、社内外専門委員17名(大学関係6名、企業関係1名、社内委員10名)で構成されています。当社からの研究報告を積極的に行い、各専門委員との質疑応答、意見交換を行うことに主眼を置いて運営しており、各担当者はいただいた意見を反映して研究成果を充実させています。

平成18年度も例年と同様、6月と12月に専門部会を開催し、6月は、当社の系統解析のためアナログシミュレータを設置している系統解析(PSA)センターの見学会と併せて実施しました。

アナログシミュレータは、発電機、送電線、変圧器、負荷などの電力機器を抵抗やコイル、電子回路などを用いて縮小モデル化した装置で、三相交流を実物同様に流して系統現象を解析するものです。平成4年度に使用開始して以来、さまざまな系統解析を実施し、系統の安定運用に貢献してきましたが、シミュレータを制御する計算機の各部に劣化が認められたため、17年度にその計算機の更新工事を実施しました。それまでは大型計算機で構成されていたものをパソコン化することで、大幅な維持費用削減が可能になるとともに、ヒューマンインターフェイスが格段に向上し、系統解析業務全体の効率化が図られています。

PSAセンター見学会を併せて開催することで当社の系統解析についてより理解を深め、専門部会の参考としていただくことができました。

系統運用専門部会

今後も当専門部会を通じて社内外の意見交換を活発に行い、当社研究開発の成果を一層充実させていきたいと考えています。



系統解析(PSA)センター



系統運用専門部会開催状況